ninoyu satoshi
発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。 題字:栢木寛照

えとす

令和元年 7・8月合併号
No.315

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

参議院選、自民、公明で安定多数
西田昌司氏圧倒的な強さを示す

滋賀は二之湯氏が惜敗

7月21日執行された参議院議員通常選挙は、自民、公明両党の選挙協力が功を奏し、両党で過半数を上回る議席を獲得した。32選挙区ある1人区では、自公候補と立憲、国民、共産、社民の統一候補との激しい戦いとなったが、統一候補は10の選挙区で勝利を収めた。京都選挙区では、事前の予想通り、自民党公認、公明党推薦の西田昌司候補が共産、立憲・国民の候補者を大きく引き離し、3度目の当選を果たした。ただ、選挙対策本部が目指していた45万票には届かなった。2位には、共産党現職の倉林氏が、後半激しく追い上げてきた、立憲・国民の増原氏を振り切り、2度目の議席を獲得し、京都における共産党の底力を発揮した。全国有数の激戦区となった滋賀選挙区では、自民公認・公明推薦の二之湯武史氏が、前知事嘉田氏の知名度に押され、残念ながら再選を果たすことが出来なかった。

7月6日、JR草津駅で二之湯候補への支援を訴える安倍自民党総裁

恒心

★参議院議員通常選挙が終わった。選挙は勝つか負けるか、どちらか1つである。健闘はしたが、惜しくも負けたでは駄目なのである。相手に1票でも多く取り、勝たねばならない。その意味では選挙は極めて正直であり、残酷でもある。★今回の選挙でも、悲喜こもごもの光景が見られた。現職が落選すれば、天国から地獄であり、新人にとっては天国に舞い上がった感じである。参議院議員の任期は6年であり、敗北した年配の人にとっては引退を宣告されたにも等しい。★若くして落選した人にとっても、次の選挙まで6年間待たなければならない。その間、他の首長や衆議院議員の公職に転出するチャンスが巡ってくればいいが、そう簡単にはいかない。生活費や次期選挙の活動費を考えると、6年間の空白は並大抵のことではない。復活はなかなか困難である。★かって、自民党の副総裁を務めた大野伴睦氏が、猿は木から落ちても猿であるが、政治家が落選したら、ただの人という名言を吐いたが、現実はまさにその通りである。それだけに、政治を志す人は相当な覚悟が必要である。★私の事務所にも、政治家を志す若者が入って来る。立候補して、当選することを前提にあれこれ夢を語っているが、実際の選挙の厳しさは分からない。今回、私の息子の選挙を手伝ってもらった。落選した事務所の様子も見た。候補者の落選の弁も聞いた。選挙の厳しさを肌で感じた。それでも、なおかつリスクを負って、政治家を志すとしたら、それは本物である。

三期目の当選の感謝と決意

選対本部長の二ノ湯智先生のご指導の下、3期目の当選を無事果たすことが出来ました。ご支援をいただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

今回の選挙は、共産党の現職と立憲・国民などの野党統一候補との事実上の三つ巴の選挙でした。これに対して、与党である公明党との選挙協力や、同士である府会・市会の議員の方々や支援団体の皆様方の強力なご支援のお陰で、無事当選が果たせましたことを重ねて御礼申し上げます。

私は、「経世済民こそ政治の使命」ということを今回の選挙で訴えてきました。世の中が安定して誰もが幸せを実感出来る社会を作ることが、経済、即ち経世済民の本来の意味です。バブル崩壊後の新自由主義路線に歯止めをかけ、日本人が本来目指していた互恵社会を作るために全力で頑張ります。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

参議院議員　**西田昌司**

西田昌司候補の戦い

祝賀会

各報道機関の事前調査によって、西田候補は圧倒的に強いと言われていた。予想通り、NHKは投票締め切り直後に、当選確実のニュースを出した。

総決起大会

今回の選挙で、約1300の団体、企業から推薦をいただいた。終盤、推薦団体の人が集まって勝利を誓い合った。世耕経産大臣も駆け付けた。

出陣式

雨が心配されたが、当日は曇天でまずまずの日和であった。早朝にも関わらず約500人の熱心な支援者が、西田候補の激励に訪れた。

二ノ湯府連会長の活動

多くの演説会に顔を出す

今回の参議院選挙で、二ノ湯自民党府連会長は、西田選挙事務所の選挙対策本部長を務め、多くの個人演説会、集会に出席し、支援を訴えた。

四条河原町の街頭演説

大きな選挙戦の最後を締めくくるのは、いつも京都市の繁華街である四条河原町。多くの支援者が集まり、候補者に最後のエールを送った。

京丹後市の演説会

統一地方選挙では公認問題で紛糾した地域。その後遺症が心配されたが、案ずるより産むが易し、いつもの演説会と変わらぬ人たちが足を運んでくれた。

個人演説会(藤森神社)

演説会初日の演説会は、まだ選挙戦ムードがなく、多くの議員が責任者となるのを嫌がる。この会場は、繁市会議員の担当だったが、多くの人が参加した。

大物の来援を受けた二之湯武史候補

菅官房長官

「令和おじさん」こと菅官房長官。二之湯候補は日頃から、長官に指導してもらっている。あいにくの雨であったが、人気者菅官房長官を見たいと大津市のコラボ滋賀21に多くの人が集まった。

岸田宏池会会長

二之湯候補は政策グループ・宏池会に所属している。会長は岸田政調会長である。選挙戦後半の7月17日、東近江市のアピアホールでの個人演説会で、多くの聴衆に支援を訴えた。

小泉進次郎自民党厚労部会長

公示日、人気の高い小泉進次郎氏は個人的に大変親しい二之湯候補の応援に、JR草津駅に駆け付けた。今回の選挙で、小泉氏は、忙しいにも関わらず、3回滋賀県に入った。

自民党参議院議員会長に関口氏
誰からも信頼のある人柄

参議院選挙後に、先ず自民党参議院議員会の会長を選出しなければならない。選出には、今後3年間の議員会の運営の主導権がどのグループが握るのか、議員にとって関心の深い人事である。7月29日に実施される会長選挙に参加出来る人は、現職の参議院議員となっており、党所属の参議院議員は、現在、113名である。会長選挙に立候補を希望する議員は、10名の推薦議員の賛同を得て、7月25日までに立候補の届け出をすることになっていたが、関口昌一氏(埼玉選挙区)以外に、立候補を表明する議員がなく、無投票で関口氏に決定した。関口氏は歯科医で、埼玉県議会議員を3期務め、平成16年10月、参議院補欠選挙で、初当選し、現在4期目。この間、総務副大臣等を歴任し、直前まで国会対策委員長として、法案審議の円滑化な成立に汗を流した。温厚で、真面目な人柄、野党はじめ、誰からも厚い信頼がある。今回、自民党参議院の各グループから、満場一致で会長に推された。会長の任期は3年であり、会長は副会長、幹事長、政策審議会長、国会対策委員長を推薦する権限があり、自民党参議院議員にとって、最高権力のポストである。

二ノ湯参議院議員
決算委員長に再び就任

8月1日、参議院議員選挙後、初めての臨時国会が召集された。会期は5日までの5日間である。参議院として、先ず、院の構成をしなければならない。最初に、議長、副議長を選出する必要がある。続いて、常任委員長などを決める。そして特別委員会の設置、引退、あるいは落選した議員の補充、そして新人議員の各委員会への所属も決めなければならない。前期までの決算委員会の委員長が今期で引退したために、新しく選出しなければならなくなった。決算の参議院と言われている通り、決算委員会の委員長は重い役職で、ベテランが務めている。二ノ湯参議院議員が、再び委員長を務めることになった。

御礼のご挨拶

参議院議員通常選挙が終わりました。結果は自民、公明候補が健闘し、過半数の議席を獲得、安倍内閣が多くの国民から信任を受けた形になりました。京都選挙区では、西田昌司氏が、多くの府民から暖かいご支援をいただき、お陰様で最高位で当選を果たすことが出来ました。選対本部で目標とした45万票には及びませんでしたが、西田氏にとって過去最高の得票であり、また得票率は44・2%となり、3年前の私の得票率を4%上回り、初期の目標を達成できたと思っております。一方、長男武史が、再選を目指した滋賀選挙区では、京都の皆様にも、ご支援賜りながら、残念な結果に終わりました。6年間の本人の努力不足と深く反省をしております。本来ならば、皆様の下へ足を運び、直接、御礼のご挨拶を申し上げるべき所ですが、公職選挙法上の制約があり、取り急ぎ、誌上にて、御礼のご挨拶とさせていただきます。結びに、暑さ厳しい折、くれぐれもご自愛下さいますようお祈り申し上げます。

令和元年8月吉日

参議院議員　**二ノ湯　智**

慌ただしい会館の引っ越し　厳しい現実に直面

選挙直後の7月22日午前、今回落選した議員の部屋へ、議員会館サービスセンターと参議院警備部の職員が来訪、議員会館の退居について話があった。その内容は、議員会館は7月25日、議員宿舎は7月28日までに荷物を取り払い、明け渡して欲しいと言うことであった。双方とも僅か1週間で荷物を整理し、引っ越すことは、非常に過酷で難しいことであったが、秘書達は一生懸命後片付けをしていた。今まで選挙の度に何回も見てきたことであったが、少し寂しい気持ちになってきた。

引っ越しの荷物搬送の為に、シートを敷き詰めた参議院会館の廊下

早々と退居を完了した議員会館

暑中お見舞い申し上げます。

連日、厳しい暑さが続いています。ご機嫌いかがですか。
日頃は私の政治活動に何かとお世話になり、
誠に有難うございます。
酷暑の折、お身体に十分気を付けて、
お元気でこの夏を乗り切ってください。

令和元年8月吉日

参議院議員　二ノ湯　智

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会

年会費　1口1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

二之湯武史は、引き続き滋賀にて政治活動を継続させて頂きます

惜しくも落選したとは言え、二之湯武史は多くの県民から力強い支援をいただきました。しかも、議員として、6年間の在任中、色々な方との強い人間関係も出来ました。事務所の体制は、これから整えて参るところでございますが、これからも滋賀県の発展のために頑張って参りますので、今後ともご指導の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

身辺雑記

一、参議院選挙が終わった。衆議院選挙は敗者復活があるが、他の選挙は勝つか負けるかの二者択一。現職と言えども負ければただの人。これほどはっきりしている世界はない。選挙は絶対に負けてはならない。

一、負けに不思議の負けなし。プロ野球の野村克也氏の言葉として有名であるが、実は松浦静山の剣術書からの引用である。負けには、必ずその要素がある。その要素は何であったか、それを考えなければ、次の展望が開けない。重い言葉である。

一、動機がはっきりしない放火魔によって、京都アニメーションで働いていた多くの人が、犠牲となった。こんな悲惨で残酷な事件は、日本において、かってなかったのではないか。犠牲者に心からの哀悼の誠を捧げたい。

一、今年のように不順な天候が続くと、暑い夏の季節に、1年の大半の生活費を稼ぐ商売はまさに上がったりである。7月に入って、炎天下という日はない。熱中症になる人はないが、商売が出来ず、生活に困る人が出てくる。

一、慰安婦問題から端を発し、徴用工訴訟、自衛隊機への照射事件、そして韓国への輸出規制と、今や日韓関係は険悪な状態となっている。反日を煽ることによって、韓国大統領の支持率が上がっているようであるが、困ったことである。

一、イランのホルムズ海峡が波高しである。日本にとって、ホルムズ海峡はエネルギーの供給にとって、極めて重要な海路であり、生命線である。この海峡の自由航路を確保することに、我が国は何ができるのか、真剣に考える必要がある。

一、選挙前に、2千万の年金不足が浮上した。お金も大事だが、それよりも、95才まで元気でいる健康長寿を、先ず心掛けなければならない。そのために日常生活に運動を取り入れる必要性を個人演説会で訴えた。